

第 138 回国税委員会、第 121 回あるべき税制委員会合同会議議事録（文責森信）

2022 年 4 月 11 日、経済産業省貿易経済協力局垣見投資促進課長から国際課税の話について議論を行いました。説明は省略します。資料は別添です。

説明を受けた後の主な議論は以下の通りです。

- ・ピラー2、GloBE ルールのがわが国への導入にあたっては、CFC 税制を簡素化することが重要かつ必要だ。
- ・とりわけ現在の CFC 税制の下で、企業側が租税回避の意図を持たないものまで課税されている（オーバーインクルージョン）のではないかという問題が生じている。この際 29 年度改正にさかのぼって見直し、税制を整理すべきではないか。
- ・わが国の無形資産投資の水準は、とりわけ経済的競争力投資について低い水準であり、何らかの対応が必要だ。
- ・米国が導入している無形資産優遇措置 FDII については、WTO との整合性の問題など課題もある。

以下の議事録本文は会員用メールマガジンで配信いたします。